

# くまもと食の歳時記

季節と、暮らしと、食べ物と。



## 二十四節気

1年間を24等分にしたもの。太陽の高さが最も低くなる「冬至」と、最も高くなる「夏至」、その間にある「春分」と「秋分」の4つを基準に1季節を4等分します。そして、冬至と春分の間を「立春」、春分と夏至の間を「立夏」、夏至と秋分の間を「立秋」、秋分と冬至の間を「立冬」とし、さらに4等分にします。1等分が約45日、これをさらに3等分にしたものが二十四節気です。人々は二十四節気で季節の変化を知り、農作業や生活に役立てていました。

### 【参考文献】

- 【日本の気象学】気象庁編『日本の気象学』(気象庁編、気象庁出版)
- 【くまもとの四季】(2009年)くまもと県民交流センター『くまもとの四季』(くまもと県民交流センター編、くまもと県民交流センター出版)
- 【くまもとの四季】(2010年)くまもと県民交流センター『くまもとの四季』(くまもと県民交流センター編、くまもと県民交流センター出版)
- 【くまもとの四季】(2011年)くまもと県民交流センター『くまもとの四季』(くまもと県民交流センター編、くまもと県民交流センター出版)

※本誌では、お米の消費や中心産地をふまえて、10月1日現在の産地を掲載しております。そのほか、お米の消費や中心産地をふまえて、10月1日現在の産地を掲載しております。

